


茨城町(いばらきまち)

	〒 311-3192 〈住所〉 東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 〈TEL〉 029-292-1111 〈FAX〉 029-292-6748 〈HP〉 http://www.town.ibaraki.lg.jp/ 〈e-mail〉 ibarakit@town.ibaraki.lg.jp	地域指定 都市開発(一部区域)	一部事務組合加入事業 し尿 運動場 退職手当 消防賞 じゆつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 こみ こみ処理広域化	法人番号 5000020083020 公営企業 <small>(※令和5年3月31日現在)</small> 法適用(上水 工水 公 共下水 農業集落排 水)
	町章 311-3192 種類 V-1 地方公共 団体コード 083020 面積 121.58 km ²			

<行政組織>

①長等(令和5年5月1日現在)

長	こばやし のりお 小林 宣夫 (75歳)	任期	令和9年4月26日
副町長	小林 弘文	就任回数	5期目

②議会(令和5年5月1日現在)

議長	澤 秀雄	副議長	山西 正樹
任期	令和5年12月20日	条例定数	16人
党派別	自民2人、公明1人、共産1人、維新2人、無所属10人	現議員数	16人

③職員数(令和4年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業 会計関係
311	270	179	41
一般行政職の 平均給料月額	3,092 百円	ラスパイレ ス指数 97.8	地域手当 補正後 ラス指数 97.8
全職員数 の推移	平成31年4月1日	令和2年4月1日	令和3年4月1日
	304	305	308

④機構図(令和5年4月1日現在)

【町長】 — 【副町長】 —

町長公室 — 秘書広聴課、地域政策課

総務部 — 総務課、財政課、税務課

保健福祉部 — 社会福祉課、長寿福祉課、こども課、保険課、健康増進課

生活経済部 — 農業政策課、商工観光課、町民課、みどり環境課

都市建設部 — 道路建設課、都市整備課、下水道課、水道課

【会計管理者】 — 会計課

【教育長】 —

教育部長 — 学校教育課、生涯学習課、学校給食共同調理場

【議会】 — 議会事務局

【農業委員会】 — 農業委員会事務局

【消防長】 — 消防次長 — 総務課、予防課、警防課

<概要>

①沿革

昭和30年2月11日	合併
長岡村 上野合村 川根村 沼前村	
昭和33年3月5日	編入
石崎村	

②地勢・風土等

茨城県のほぼ中央に位置し、涸沼をはじめとする水と緑の豊かな自然環境と、うるおいのある生活環境に恵まれた田園都市である。

茨城町のほぼ半数を占める農地では、メロン、いちごを始め、さつまいもや栗など、温暖な気候と恵まれた土地を活かして数多くの農作物を生産している。

また、工業団地への企業誘致活動も積極的に行い、町内に3つのICが存在する交通の便の良さから、農商工三位一体によるバランスのとれた発展を続けている。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和5年4月1日)	
	平成22年	平成27年	令和2年		
人口	男	17,018	16,216	15,563	14,935
	女	17,495	16,705	15,838	15,228
	合計	34,513	32,921	31,401	30,163
世帯数	11,187	11,356	11,758	11,784	

④有権者数(令和5年3月1日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 34.9%
	13,103	13,387	26,490	

<産業・経済>

①生産・所得(令和2年度)

市町村内 総生産	1,423 億円	住民所得	885 億円
		人口1人当り住民所得	2,819 千円

②産業構造

区分	総生産額(令和2年度)	就業人口(令和2年国調)
第1次	10,692 7.5%	2,372 15.0%
第2次	29,005 20.4%	3,659 23.1%
第3次	101,932 71.6%	9,776 61.8%
総額・総数	142,308 —	15,807 —

③農業・工業・商業

農業 (令和2年2月1日)	農家数	主業農家数	農業就業人口
	2,029	374	3,239
製造業 (令和3年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (R2.1.1~12.31)
	50	2,104	60,134
卸・小売業 (令和3年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (R2.1.1~12.31)
	272	2,959	269,230

④特産物

メロン、いちご、しじみ、にら、栗、ねぎ、トマト、米、常陸牛

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	増減率
歳入	17,352,258	15,019,563	△ 13.4
歳出	16,558,038	14,251,359	△ 13.9
形式収支	794,220	768,204	-
実質収支	395,978	683,860	-
単年度収支	△ 22,763	287,882	-
実質単年度収支	△ 55,585	287,902	-

②主な歳入・歳出(令和3年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	15,020	-	△ 2,332	△ 13.4
地方税	3,849	25.6	10	0.3
地方交付税	3,167	21.1	△ 438	△ 12.1
国庫支出金	3,245	21.6	△ 2,265	△ 41.1
地方債	1,115	7.4	168	17.7
うち臨財債	516	3.4	136	35.8
その他	3,644	24.3	193	5.6
うち繰入金	83	0.6	△ 430	△ 83.8
歳出	14,251	-	△ 2,307	△ 13.9
義務的経費	6,313	44.3	885	16.3
人件費	2,387	16.7	100	4.4
扶助費	3,029	21.3	756	33.3
公債費	897	6.3	29	3.3
投資的経費	2,009	14.1	346	20.8
普通建設事業費	2,009	14.1	358	21.7
うち補助	1,159	8.1	331	40.0
うち単独	841	5.9	26	3.2
その他の経費	5,929	41.6	△ 3,538	△ 37.4
うち繰出金	1,317	9.2	2	0.2

③主要指標(令和3年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (13.68)
連結実質赤字比率	- % (18.68)
実質公債費比率	6.6 % (25.0) [6.3]
将来負担比率	23.5 % (350.0) [28.8]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和4年度)	0.584	[0.677]
経常収支比率	80.6 %	[85.7]
標準財政規模(令和4年度)	8,041 百万円	[16,143]
地方債現在高(A)	10,341 百万円	[26,406]
債務負担行為支出予定額(B)	3,362 百万円	[5,315]
積立金現在高(C)	5,060 百万円	[7,343]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	8,643 百万円	[24,378]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和3年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	1,416,176 (35.7)	1,377,456 (35.8)	97.3 [97.2]
市町村民税・法人 (構成比)	250,109 (6.3)	247,771 (6.4)	99.1 [98.7]
固定資産税 (構成比)	1,866,486 (47.0)	1,795,431 (46.6)	96.2 [97.1]
市町村税合計 (国保除く)	3,969,090	3,848,951	97.0 [97.3]

<公共施設整備状況>(令和3年度) ※1は令和4年度
道路改良率・舗装率は令和2年度

小学校 ※1	4 校	体育館	1 か所
中学校 ※1	2 校	プール	1 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	4 園	老人福祉施設	26 か所
保育所 ※1	3 か所	病院・一般診療所	22 か所
認定こども園 ※1	7 園	道路改良率	19.0 %
図書館	1 か所	道路舗装率	66.3 %
公営住宅	250 戸	上水道等普及率	90.9 %
公民館等	0 か所	污水処理普及率	72.1 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
水鳥・湿地センター整備事業	R2 ～ R5	国内で12番目となる涸沼水鳥・湿地センター(仮称)について、外構工事等を実施し、令和5年度中の供用開始を目指す。	132 (R5)
カーボンニュートラル推進事業	R5	脱炭素社会に向け、再生可能エネルギーの活用に向けた町づくりビジョンを策定する。また、太陽光発電の導入促進を図るため、家庭用蓄電システムの設置費用の一部助成を拡充する。	11
文化的施設整備事業	R3 ～ R7	町民の文化・芸術の振興及び地域交流の拠点となる文化的施設の整備に向け、中央公民館大ホールを解体するとともに、施設の管理運営計画を策定する。	94 (R5)
道路新設改良事業	R5	日常生活の利便性を高めるため、快適に移動できる道路を整備する。	128
就業者移住支援金交付事業	R5	茨城町へ移住した就業者を含む世帯を対象に支援金を交付し、移住時の経済的な負担軽減とともに定住の促進を図る。	8

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p><主要課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少への対応 ・保健・医療・福祉施策、子育て支援施策の一層の充実 ・環境の保全と安全性の向上を重視した生活環境の整備 ・特色ある教育・文化行政の推進 ・農業を柱とした産業の育成と観光・交流機能の強化 ・未来を見据えた便利で安全な生活基盤の整備 ・協働のまちづくりと行財政改革の推進
<p><特色ある行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健やかでやさしい健康・福祉のまち ・快適で安全・安心な生活環境のまち ・次代を担う人を育む教育・文化のまち ・活力と交流あふれる元気産業のまち ・未来への生活基盤が整ったまち ・みんなの力でつくる自立したまち